

1. 2022年度の会員の異動

(1) 入会 0社

(2) 退会 1社

会 員 名	住 所
ナル・トレーディング株式会社	東京都東村山市富士見町1-12-2

(3) 会員数 40社 (2023年3月31日現在)

2. 2022年度家畜輸入状況 (会員実績)

(1) 畜種別輸入頭数

畜 種	年 度	2022年度	2021年度	2020年度
馬		3,946	3,214	3,107
牛		6,367	11,964	13,569
豚		810	1,057	1,523
緬山羊・鹿		0	19	23
その他の動物		1	0	0
合 計		11,124	16,254	18,222

(2) 用途別輸入頭数

畜 種	種類・用途	2022年度	2021年度	2020年度	
馬	軽種馬	繁殖用	122	180	148
		競走用	155	135	143
	軽種馬計	277	315	291	
	乗用馬	176	178	117	
	重種馬	0	0	0	
	肥育用素馬	3,487	2,718	2,699	
	と場直行馬	0	0	0	
	その他の馬	6	3	0	
合 計		3,946	3,214	3,107	
牛	血統登録牛	乳用牛	0	0	0
		肉用牛	0	0	0
	血統登録牛計	0	0	0	
	その他の牛	乳用牛	0	687	0
		肉用牛	0	0	0
	その他の牛計	0	687	0	
	肥育用素牛	共同輸送船	6,367	11,277	13,569
		上記以外	0	0	0
肥育用素牛計	6,367	11,277	13,569		
と場直行牛	0	0	0		
合 計		6,367	11,964	13,569	
豚	繁殖用豚	810	1,057	1,523	
	その他の豚	0	0	0	
	合 計	810	1,057	1,523	
緬山羊 山羊 鹿	繁殖用	0	19	23	
	その他の緬山羊・鹿	0	0	0	
	合 計	0	19	23	
	上記以外の大動物	0	0	0	
	上記以外の中動物	1	0	0	
	上記以外の小動物	0	0	0	
総 合 計		11,124	16,254	18,222	

(注) その他の馬 (2022年度: 重種繁殖用・ミニホース、2021年度: 重種馬搬用、)
 緬山羊山羊鹿の繁殖用 (2021年度: 緬山羊、2020年度: 山羊)
 上記以外の中動物 (2022年度: ミニロバ)

(3) 家畜の輸入検疫に係る受検計画の策定と家畜輸入をめぐる情勢

ア 年間収容計画の策定とその後の調整

計画策定に際して係留施設の効率的利用を図るため、会員への希望調査実施（多頭数輸送畜種）と状況を考慮した調整（実績率、時期・場所別収容想定等）を行い、2023年度の希望総頭数 18,510 頭に対し収容計画頭数（2023年度当初）を 17,880 頭に設定した。

2022年度においても輸入の計画変更及び新規希望への対応・調整のほか、繁殖豚では半年毎の希望調査を実施して計画の修正に反映した。

これらの計画策定と調整に際しては動物検疫所と緊密に連絡を取りつつ、円滑な動物検疫受検体制の維持に努めた。

イ 家畜輸入の状況

2022年度 11,124 頭（68%、%表記は対前年比）と大幅に減少した。

畜種別及び用途別では、馬 3,946 頭（122%）うち軽種馬（繁殖）122 頭（67%）、軽種馬（競走）155 頭（114%）、乗用馬 176 頭（98%）、肥育用素馬 3,487 頭（128%）、その他の馬（重種繁殖、ミニホース）6 頭、牛 6,367 頭（53%）全て肥育用素牛、豚 810 頭（76%）、中動物種としてミノロバ 1 頭であった。

ウ 監視伝染病の摘発状況

2022年度中の輸入検疫において監視伝染病に感染もしくはその疑いありと診断された疾病は、届出伝染病での馬インフルエンザ（肥育用素馬）、豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS、繁殖用豚）であった。

エ 家畜輸入をめぐる課題・話題

① BSE 発生国からの生体牛等の輸入停止措置

輸入停止措置によりオーストラリア、ニュージーランドからの輸入に限定。

② 動物検疫所の施設整備

収容計画への影響最小限化のため動物検疫所との情報共有に努め、会員への事前周知と協力依頼を実施している。

③ 動物検疫所による水際検疫の強化

検疫探知犬増頭、関係機関連携による検査体制の強化が図られているほか、PCR 検査法とリスク評価に基づく合理的な検査が実施されている。

3. 会議等の開催状況

(1) 総会

次のとおり総会を開催し、原案について審議、承認、議決した。

開催日及び場所	議 決 事 項
第 3 2 回定時総会 2022年5月20日 森永プラザビル 23階 A・B会議室 (東京都港区芝 5-33-1)	第 1 号議案 2021年度事業報告及び決算に関する件（報告・承認） 第 2 号議案 2022年度事業計画書及び収支予算書に関する件（報告・承認） 第 3 号議案 公益目的支出計画の実施完了に関する件（報告） 第 4 号議案 任期満了に伴う役員の改選に関する件

(2) 理事会

次のとおり理事会を開催し、協議会の業務運営に関する議案について審議、議決した。

開催日及び場所	審議・議決事項
第1回理事会 2022年4月19日 協議会会議室	第1号議案 第32回定時総会の開催に関する件 第2号議案 2021年度事業報告、収支決算報告及び監査報告 第3号議案 協議会運営事項
第2回理事会 2022年9月13日 協議会会議室	第1号議案 2023年度輸入家畜収容計画策定基本方針に関する件 第2号議案 報告・連絡事項
第3回理事会 2022年11月15日 協議会会議室	第1号議案 2022年度上半期決算報告 第2号議案 2023年度輸入家畜収容計画 第3号議案 その他の報告・連絡事項
第4回理事会 2023年3月14日 協議会会議室	第1号議案 2022年度家畜輸入状況報告 第2号議案 2023年度輸入家畜収容計画報告 第3号議案 2022年度収支決算見通し報告 第4号議案 2023年度事業計画書及び収支予算書の承認 第5号議案 就業規則の改正 第6号議案 報告・連絡事項

(3) 畜種別部会

次のとおり、協議会部会組織運営規程に基づく畜種別部会を開催し、家畜輸入に関する輸送計画、輸入希望頭数の調整を含む会員の家畜輸入年度計画の策定のほか、動物検疫所との情報交換を行い、家畜輸出入の円滑な実施を図るとともに、動物検疫所の係留施設の効率的運用に努めた。

開催日及び場所	会議内容
素馬部会 2022年12月2日 協議会会議室	議題 1. 2023年度輸入家畜収容計画 2. 2023年度に向けた希望調査 3. その他

(4) 家畜輸出入に関するセミナー

会員への畜産及び家畜衛生・公衆衛生に対する知識の向上と家畜輸出入の円滑化を図り、会員以外にも普及啓発に努めるため開催し、その内容はセミナー資料として配布するとともに、その概要を協議会Webサイトで公開しているが、本年度も新型コロナウイルス感染症の関係等から開催を中止した。

協議会定款第32条に基づく畜種別部会
(2022年度)

2023年3月末日

部会名	部会長	副部会長	部会員
馬	(株)野澤組 野澤 毅一郎	全農畜産サービス(株) 内田 江一郎	(株)野澤組、全農畜産サービス(株)、(株)エバーユニオン商会 関東馬匹運輸(有)、グリーンヒルズ(株)、(株)スパイクス 大西洋貿易(株)、(有)T&Tコーポレーション ナーヴィックインターナショナルリンク日本事務所 (有)ブルーグラスインターナショナル 10社
繁殖牛	全農畜産サービス(株) 内田 江一郎	(株)野澤組 野澤 毅一郎	全農畜産サービス(株)、(株)野澤組、兼松(株)、スターゼン(株) (株)ゼン・トレーディング、双日食料(株)、ティーエムシー(株) (株)ナスアグリサービス、(株)藤井商店、マルハニチロ(株) (有)瑞穂農場、三井物産(株) 12社
豚	プライフーズ(株) 高畑 隆	イワタニ・ケンボロー(株) 菊池 将仁	プライフーズ(株)、イワタニ・ケンボロー(株)、伊藤忠商事(株) (有)萱農場、(株)シムコ、ジャパンフード(株)、全農畜産サービス(株) 双日食料(株)、(株)ナスアグリサービス、(株)野澤組 ピクアジェネティクス(株)、日の出物産(株)、マルハニチロ(株) 13社
肉用牛	双日食料(株) 森谷 秀範	兼松(株) 杉原 亮	双日食料(株)、マルハニチロ(株)、伊藤忠商事(株)、兼松(株) ジャパンフード(株)、スターゼン(株)、全農畜産サービス(株) (有)大平物産、ティーエムシー(株)、日鉄物産(株)、(株)ヒョウチク 丸紅(株)、(有)瑞穂農場、三井物産(株)、(有)南牧場 15社
素馬	ジャパンフード(株) 富山 修	全農畜産サービス(株) 内田 江一郎 双日食料(株) 森谷 秀範	丸紅(株)、ジャパンフード(株)、(有)小田桐産業、(株)菅乃屋ミート 全農畜産サービス(株)、双日食料(株)、大西洋貿易(株) ティーエムシー(株)、(株)フジチク、(有)貿易振興サービス Bostonトレーディング(株)、三井物産(株) 12社

(注) 部会員の表記順は、正・副部会長に続いて50音順

4. その他の主な事業等

(1) 家畜輸出入に関する情報の収集と周知等

2022年度に農林水産省関係部局、動物検疫所等から発出された通知・連絡のうち、家畜の輸出入に関連するものを会員に周知するとともに、国内外での家畜の伝染性疾病発生状況及び関連情報についても、必要に応じて会員へ提供した。

(2) 動物検疫所等との意見交換、要望等

動物検疫所と家畜の飼養管理・検査時の事故防止（安全対策）に係る意見交換、関係部会への周知並びに家畜の需給動向、輸出国での取扱状況（検査、隔離状況）等についての情報の提供、意見交換を行った。

(3) 輸入牛の耳標手配請求・管理報告

牛トレーサビリティ法に基づく輸入牛の耳標取扱のうち、オーストラリアでの装着耳標については、(独)家畜改良センター個体識別部への発注手配と管理報告に関与しているほか、連絡調整を随時実施した。

(4) 輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）の利用推進

輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）での動物輸入の事前届出促進のため、メールでの事前届出案内を会員に行い、期限厳守を要請した。

5. 2022年度に発出された家畜の輸出入関連通知

(2022年4月1日～2023年3月31日接受分、元号表記年月日は官庁文書日付)

- (1) 令和 4年 7月 20日 - 4消安第 2142号 農林水産省 動物検疫所
件名 カナダから日本向けに輸出される馬の家畜衛生条件の改正について
- (2) 令和 4年 8月 23日 - 4動検第 537号 農林水産省 動物検疫所
件名 日本から韓国向けに輸出される国際大会参加馬及び帰国馬の家畜衛生条件の改正について
- (3) 令和 4年 10月 3日 - 4動検第 644号 農林水産省 動物検疫所長
件名 馬インフルエンザ検査対応方針の一部改正について
- (4) 令和 4年 10月 3日 - 4消安第 3440号 農林水産省 消費・安全局長
件名 家畜の飼養に係る衛生管理の状況等に関する各種様式について
- (5) 令和 4年 10月 3日 - 4消安第 3441号 農林水産省 消費・安全局
動物衛生課長
件名 飼養衛生管理基準遵守指導の手引きの改訂について
- (6) 令和 4年 12月 23日 - 4消安第 5192号 農林水産省 消費・安全局長
件名 特定家畜伝染病防疫指針の一部改正及び特定家畜伝染病防疫指針に基づく発生予防及びまん延防止措置の実施に当たっての留意事項について (豚熱)
- (7) 令和 5年 1月 23日 - 4消安第 5673号 農林水産省 動物検疫所
件名 サウジアラビアで開催される国際交流競走に出走後帰国する馬の家畜衛生条件について

6. 顧問弁護士及び税理士の委嘱

下記の顧問弁護士及び顧問税理士の指導のもと、一般社団法人業務の公正・的確な運営と経理事務の適正な処理を行った。

区分	氏名	住所
弁護士	谷 真人	東京都千代田区有楽町1-6-4 日比谷見附法律事務所
税理士	松下 敬三	東京都中央区日本橋大伝馬町2-1-4 松下会計事務所